

交換留学レポート

留学先国・地域	台湾	留学先大学名	東海大学
高知大学での所属	TSP 国際人材育成コース	留学先での所属	交換留学生
留学期間	2018/2/23	～	2018/6/30

学習に関すること

私は東海大学で中国語と英語の授業を受けていた。まず中国語の授業は事前に申し込んでおく必要がある。華語中心という語学学校の分類になるため、履修登録の時に手続きする必要はない。オリエンテーションの日にプレースメントテストが行われた。パソコンを使ったテストに加え、口頭試験も行われた。その後クラス分けが発表されて、授業が始まる。クラス分けによって午前3時間か午後3時間かが決まる。私は午後で13時10分から16時までだった。教科書は各クラスで連絡があるので、それを購入する。授業は基本中国語で行われる。少しわからないことがあると先生が簡単な英語で捕捉を入れてくれることがある。また授業の内容はもちろん難易度があがっていく。テストもあるため復習をしっかりする必要がある。授業以外にも文化的なイベントや旅行の連絡も来るので参加してみるのもいいと思った。半年留学の場合、終わるころにもう一度プレースメントテストのようなものを受けることができ、自分の中国語力がどのように伸びたか知ることができる。私はほかの授業があったため受けることができなかった。

中国語以外には英語の授業を履修していた。私はスピーキング能力が高くないと思っていたので、大学1・2年生が受けるオーラル英語の1と2を履修した。この授業はどちらも朝の8時10分から始まる。この授業の1回目は中国語の授業が午前か午後か決まっていなかったため、午前にこの2つ、午後に他の授業2つに参加してサインをもらっていた。それからクラス分けを見て、午後の授業を線で消して学務課に提出した。授業自体は英語で行われた。しかし、グループの話し合いでは中国語を使う学生もいたのでコミュニケーションが大変だった。グループでの発表や個人での発表、ディベートなどを授業で行った。教科書は先生がコピーしたものを用意してくれたので、特に困らなかった。

授業以外では言語交換に登録していたので、日本語学科の学生と交流することができた。困ったことがあるときに相談したら親身になって協力してくれた。個人によって違うが、日本語で基本的なコミュニケーションをとれる学生が多いように感じた。仲良くなったらご飯を一緒に食べに行ったりした。向こうの学生も日本語を話したいと思っているので、中国語の会話練習がしたいのであれば事前に伝えたりするといいと思う。時々言語交換で問題が発生することがあるので、困ったことがあれば留学生サポーターの人や日本人など周りの人に相談するようにした方がいい。

勉強スペースとしては自分の部屋か寮の中にある学習スペース、図書館などがある。また、大学内では大学のWi-Fiに繋ぐことができるが、場所によってはつながらないこともあるため、SIMカードが入っている携帯をよく持ち歩いていた。

生活に関すること

私は台湾の東海大学に半年間留学した。東海大学があるのは台中市と言うところである。私は大学内にある学生寮に住んでいた。女子専用の寮で台湾人と中国人が多かったように思う。女子専用であるため入口は学生証がカギとなっていた。一部屋 4 人部屋で私の部屋は中国人 3 人と私だった。机は収納棚で区切られており、ベッドは 2 段になっていた。ルームメイトとのコミュニケーションは相手にもよるが、私の場合は最初英語でやり取りをし、慣れてきたら中国語でほとんど会話していた。ネットは個人の机の近くに LAN ケーブルをつなぐところがあるため、そこからパソコンに繋いでいた。暑くなるとエアコンをつけようと思うが、寮費には含まれていない。部屋にカードがあるので、それにチャージをして使うことができる。トイレ・風呂・洗濯機はその階の人と共有して使った。平日は毎日昼休みの時間に 1 回生が掃除をしている。洗濯機は 1 回 30 分 20 元だった。脱水機は無料。乾燥機は 10 分 10 元で使える。洗濯機があるところで洗濯物を干すことができるが、私はベランダに洗濯物干しを置いて乾かしていた。コンセントも電圧も日本とほぼ同じなので変圧器は使わなかった。

寮の近くには食堂とコンビニがあるため、朝・昼ご飯はそこで買っていた。夜ご飯はそこか、夜市で買って食べていた。学食のバイキングは自分で量を決めることができ安いので節約にはなる。大学から一番近い夜市は「ドンビエ」と呼ばれている。そこで日用品を揃えることができる。日本の製品は割高であるため、どうしても持って使いたいものは日本から持って行った方がいいと思う。台湾では現在プラスチックの削減をしているため、物を買ってもレジ袋をあまり提供してくれない。エコバックを持っていくと便利である。また、台中市では公共バスがたくさん走っている。学生証は悠遊カード（IC カード）にもなっていて、台中市なら 10 キロ圏内は無料で乗ることができる。台中市中心部には百貨店などもある。また休日などは台中の名所やほかの場所にも旅行したりなどしていた。遠距離バスのチケットはコンビニの機械で予約することができる。台北や台南行のバスは朝馬というバス停が一番近い。台中駅までは大学からバスで 30 分くらい離れている。また日本の新幹線のような高鉄の駅はバスで 20 分くらいかかる。

台湾はバイク社会で「ドンビエ」でも多くのバイクが走っている。道を渡るときは特に気を付ける必要がある。台湾では 4 月あたりから暑くなり始める。水分補給はしっかりと熱中症にならないように気を付けて過ごした。台湾で日本の薬を探してないのであるか分からないが、よく使う薬、風邪薬、胃腸薬、下痢止めなどは日本から多めに持って行った方がいい。もし 1 年留学で外部に住みたいというのであれば、サポーターの人に相談などしてみるといいと思った。中国語圏の人と同じ部屋になったら積極的に話してみると、語学力ももっと伸びると思った。